

第5学年 外国語科学習指導案

日時 令和5年11月17日(金)

場所 体育館 5年生 19名

指導者 HRT 鑄形 美絵 (T1)

JTE 阿部 佐那子 (T2)

1 単元名 Let's enjoy! "My Hero"プレゼンテーション! ~もっと知ってもらおう! 自分のこと~
(参照: Junior Sunshine5 Lesson6 My Hero)

2 単元の見どころ

相手や相手にとっての'Hero'の得意なことなどについて、具体的な情報を聞き取ったり、マリテス先生や友達に自分の新たな一面を知ってもらうために、自分にとっての'Hero'の得意なことなどについて、考えや気持ちを含めて話したりすることができる。

3 児童について

本学級の児童は外国語科学習に意欲的に取り組んでいる。5月に実施したアンケートでは、「話すことが楽しい」という理由から96%の児童が外国語科学習を「好き」と回答した。さらに全員が「外国語科学習は大切である」と答え、「いろんな国の人とあいさつをしたい」「困っている方がいたら道案内をしたい」と身近な生活の中で英語を使い、コミュニケーションを図りたいという願いをもっていることが理解できた。

しかし、やり取りの場面を見てみると、伝えたいことはあるけれど、英語でどう表現すればよいか分からず諦めてしまったり、質問や反応をしながら聞くことができなかつたりして、会話がすぐに終わってしまう児童の姿も見られた。そこで、既習表現を使って、何とか自分の伝えたいことを表現する力を育成するために、ペアワークやグループワークを積極的に取り入れながら、言語活動中心の授業に取り組んできた。分からないことや困っていることを共有して解決する活動に取り組む中、英語を使って伝えることができた達成感を感じられるようになってきた。

また、指導者がペアワークやグループワークの際に学習活動の確認や指導を計画的に行えていないことも課題であった。児童の学習活動を見取り、中間指導を行うとともに、一人一台端末による、デジタル教科書や学習支援アプリ、録画機能等を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体化を目指した学びの場をつくり、子どもたちの言語活動を充実させたい。

4 単元について

本単元では、'Hero'についての話を聞き、「be good at ~」「He [She] is ~」等の表現を繰り返し用いて、自分にとっての'Hero'を発表する。児童にとって、'Hero'は、目標や憧れとなる人物であったり、特別なエピソードがあったりすると推察される。これまで、児童は、4月に初めて出会った地域ボランティアのマリテス先生に、自分の好きなことやできること、なりたい職業などを伝え、自分のことを知ってもらったり、マリテス先生の生まれた国や文化のこと、マリテス先生が好きなことなどを聞いたりして、学んだ英語で伝え合えた喜びを感じている。最高学年に向けて、成長していこうとする意欲が高まっているこの時期に、自分にとっての'Hero'を紹介することは、自分自身の考えや気持ちなどを分かってもらうことにもつながる。'Hero'を紹介するプレゼンの動画はマリテス先生や家族に視聴してもらい、成長した自分のことや、憧れている人物のことを知ってもらう機会にしたい。また、自分のことをもっと知ってもらうために、何度も思考して自己調整を図り、工夫して伝えようと粘り強く取り組む力を育てたい。

第1時では、JTEにとっての'Hero'についての話を聞き、「be good at ~」「He [She] is ~」等の表現に出会う。JTEの'Hero'に対する特別な思いを知り、「My Heroをプレゼンする」という単元のゴールに向かう意欲を高めたい。第2時では、自分のことをよく知ってもらうために、自分の得意なことを友達と伝え合い、「be good at ~」の表現に慣れるとともに、HRTにとっての'Hero'についての話を聞く。第3、4時では、自分にとっての'Hero'を紹介するため、「be good at ~」「He [She] is ~」等の表現に十分慣れ、'Hero'をプレゼンする内容を考える。第5時では、自分にとっての'Hero'をよく知ってもらうために、プレゼンの内容を工夫し、ペアで紹介し合う。発表内容をより詳しく伝えられるよう思考しながら学習活動に取り組めるようにしたい。第6時では、マリテス先生や友達に自分のことをもっと知ってもらうために、自分にとっての'Hero'をプレゼンする。撮影したプレゼン動画は、後日、家族や体調不良でしばらく会えていないマリテス先生に送る。こうした学習を積み重ね、単元を通じて、本校の研究主題である「かかわりを通して学び、自らの思いを伝え合う言語活動の追究」につなげたい。

5 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<知識> I'm good at ~. He [She] is good at ~. He [She] is ~. など、得意なことや状態・気持ちを表す表現について理解している。 <技能> 得意なことや状態・気持ちなどを表す表現について理解し、具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。	本単元では評価しない。	主体的に学習に取り組む態度 本単元では評価しない。
話すこと (発表)	<知識> I'm good at ~. He [She] is good at ~. He [She] is ~. など、得意なことや状態・気持ちなどを表す表現について理解している。 <技能> 得意なことや状態・気持ちなどを表す表現について理解し、話す技能を身に付けている。	自分の新たな一面を知ってもらうために、自分にとっての'Hero'の得意なことなどについて、考えや気持ちを含めて話している。	自分の新たな一面を知ってもらうために、自分にとっての'Hero'の得意なことなどについて、考えや気持ちを含めて話そうとしている。

6 単元の指導と評価の計画 (全6時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (○)	評 価		
		知 技	思 判 表 考 断 表 現	態 度
				◎評価規準 (評価方法) <記録に残す評価> ※評価規準 (評価方法) <形成的評価>
1	◆ 得意なことを表す表現を知り、得意なことを聞いたり話したりすることができる。 ○【Let's Listen2】 p.48の映像を見て、本単元の概要をつかむ。 ○得意なことや人柄を表す表現を知る。 ○JTEにとっての'Hero'を紹介する話を聞き、単元のゴールを確認する。 ○自分の得意なことを話す。 ○歌"I Like You"	(聞)		本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。(形成的評価) ※得意なことについて聞いている。(行動観察・振り返りシート) ※自分の得意なことについて話している。(行動観察・ワークシート・振り返りシート)
2	◆ 自分の得意なことについて話すことができる。 ○歌"I Like You" ○Small Talk ○"Who am I?"クイズ ○自分の得意なことについて話す。 ○HRTにとっての'Hero'を紹介する内容を聞く。	(発)		本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。(形成的評価) ※自分の得意なことについて話している。(行動観察・ワークシート・振り返りシート)
3	◆ 第三者の得意なことなどについて聞き取ることができる。 ○歌"I Like You" ○Small Talk ○【Let's Listen4】 p.52の映像を見て、登場人物の得意なことなどについて聞き取る。 ○he/sheチェンゲーム ○【Let's Play5】 p.51 he/sheを使って、友達の得意なことなどについて話す。 ○'Hero'を紹介する内容をワークシートに書き、ペアで話す。	(聞)		本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。(形成的評価) ※第三者の得意なことなどについて聞き取っている。(行動観察・ワークシート・振り返りシート)
4	◆ 第三者の得意なことなどについて具体的な情報を聞き取ったり、自分にとっての'Hero'の得意なことなどについて話したりすることができる。 ○【Let's Listen5】 p.54の映像を見て、登場人物の得意なことなどの話を聞き取る。 ○'Hero'の得意なことなどについて話す。 ○プレゼンをするためのワークシートや発表内	(聞) (発)		◎第三者の得意なことなどの具体的な情報を聞き取っている。(行動観察・ワークシート・振り返りシート) ◎自分にとっての'Hero'の得意なことなどについて話すことができる。(行動観察・ワークシート・撮影動画・振り返り)

	容を改善する。 ○‘Hero’についての紹介を動画を撮影し、振り返りをする。				りシート)
5 (本時)	◆ 自分の新たな一面を知ってもらうために、自分にとっての‘Hero’の得意なことなどについて、考えや気持ちを含めて話すことができる。 ○Small Talk ○ワークシートや発表内容を確認し、自分にとっての‘Hero’についてペアで話す。 ○先生や友達の‘Hero’の話を聞く。 ○ワークシートや発表内容を再考し、自分にとっての‘Hero’についてペアで話す。 ○動画を撮影し、振り返りをする。	発	発		◎自分にとっての‘Hero’の得意なことなどについて話している。(行動観察・ワークシート・撮影動画・振り返りシート・後日パフォーマンステスト) ◎自分の新たな一面を知ってもらうために、自分にとっての‘Hero’の得意なことなどについて、自分の考えや気持ちを含めて話している。(行動観察・ワークシート・撮影動画・振り返りシート・後日パフォーマンステスト)
6	◆ 自分の新たな一面を知ってもらうために、自分にとっての‘Hero’の得意なことなどについて、考えや気持ちを含めて話すことができる。 ○前時の動画を見て、紹介の仕方や内容について確認する。 ○グループで自分にとっての‘Hero’について話す。 ○後日マリテス先生や家族に見てもらうため、動画を撮影する。	発	発	発	◎自分にとっての‘Hero’の得意なことなどについて話している。(行動観察・動画・振り返りシート・後日パフォーマンステスト) ◎自分の新たな一面を知ってもらうために、自分にとっての‘Hero’の得意なことなどについて、自分の考えや気持ちを含めて話している。(行動観察・ワークシート・撮影動画・振り返りシート・後日パフォーマンステスト) ◎自分の新たな一面を知ってもらうために、自分にとっての‘Hero’の得意なことなどについて、考えや気持ちを含めて話そうとしている。(行動観察・ワークシート・撮影動画・振り返りシート・後日パフォーマンステスト)

7 本単元で使う主な言語材料

I'm good at～. He [She] is good at～. (既習) He [She] is～. Who is your hero? This is my hero.

動作 (既習 jump, run, sing, cook, swim, jump rope, read a book, play badminton, play soccer, play the piano, play the recorder, dance, sing, draw pictures, see, play baseball, play basketball)

状態・気持ち (active, cool, fantastic, gentle, kind, brave, strong, tough, funny, kind, cute)

8 本時の活動 (第5時)

(1) 目標

自分の新たな一面を知ってもらうために、自分にとっての‘Hero’の得意なことなどについて、考えや気持ちを含めて話すことができる。

(2) 展開

時間	児童の活動	指導者の活動		指導上の留意点 ◎評価規準 (評価方法)
		HRT	JTE	
1分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をする。		・挨拶をし、楽しい授業の雰囲気を作る。
6分	・Small Talkをする。 「好きなキャラクター」	・「好きなキャラクター」について話しモデルを示す。 ・困り感のある児童には個別支援をする。		・既習表現を活用しながら、考えや気持ちを自由に伝え合えるように支援する。 ・学級全体で困り感を共有し課題解決を図る。
1分	・本時のめあてを確認する。	・前時の活動を振り返り本時のめあてにつなげる。		・単元のゴールを確認し、意欲付けを図る。

‘My Hero’のことをもっとよく知ってもらえるプレゼンにしよう。

3分	・自分にとっての'Hero'について、ペアで紹介し合う。 (ペア活動1回目)	・困り感のある児童には個別支援をする。	・自分のことをもっと知ってもらおうプレゼンにするためにどうすればよいか、めあてに意識を向けることができるようにする。
<p>(児童紹介例)</p> <p>This is my hero. He is Otani Shohei. He is good at playing baseball.</p>			
3分	・ある先生の紹介を聞く。	・児童と一緒にプレゼンの紹介を聞く。	・よりよく伝える工夫に気付かせ、自分の紹介に生かせるようにする。
10分	・自分の紹介と比較して、よかった点やまねしたいことなどについて発表する。 ★Step upタイム ・紹介の内容や方法等について改善する。 ・改善点やその方法について発表する。	・中間指導を行い、紹介の内容や方法について気付いた点等について問う。 ＜期待する自己調整内容＞ 【言語面】表現などについて練習する。 【内容面】 ・情報を加える。 ・自分のことも加える。 ・話す順番を工夫する。 ・聞き手を意識して問いかける。 【態度面】話し方や表情など ・どのような方法でどのような点を改善したか等について問い、全体で共有する。	・よりよい紹介となるよう、改善点等について、方向性がもてるようにする。 ・各自の課題に応じて、前時の動画の振り返りやデジタル教科書の活用、指導者との会話や相談等、学び方を選択して自己調整が図れるようにする。 ・支援が必要な児童には寄り添い、必要に応じて支援を行う。 ・必要に応じて、中間指導を行い、目標に向けた自己調整を促すようにする。
6分	・自分にとっての'Hero'について、ペアで紹介し合う。 (ペア活動2回目)	・改善点を生かして紹介し合えるように言葉かけをする。 ・必要に応じて、中間指導を行う。	◎自分にとっての'Hero'の得意なことなどについて話している。(行動観察・ワークシート・撮影動画・振り返りシート・後日パフォーマンステスト) ◎自分の新たな一面を知ってもらうために、自分にとっての'Hero'の得意なことなどについて、自分の考えや気持ちを含めて話している。(行動観察・ワークシート・撮影動画・振り返りシート・後日パフォーマンステスト) ・よりよく伝わるように発表の仕方や内容を工夫した児童を紹介し、次時につなげる。
4分	・全体の前で紹介する。	・全体の前で紹介することを告げ、児童を指名し発表を聞く。 ・改善された点を児童と共に確認する。	
<p>(児童改善例)</p> <p>Hello. Do you like baseball? I like baseball very much. I can play baseball. This is my hero. He is Otani Shohei. Do you know Otani Shohei? He is good at playing baseball. He is great and cool. Thank you.</p>			
5分	・動画撮影をする。	・本時のまとめとして、動画を撮影することを告げる。	・本時に自己調整したことや、代表児童の紹介のよさを取り入れるなどして、よりよい紹介になるよう促す。
5分	・本時の活動を振り返る。	・児童の活動のよかった点を伝え、次時の学習への意欲を高められるようにする。	・前時の動画と本時の紹介を比較し、どのように自己調整したかが自覚できるようにする。
1分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をする。	

(3) 評価及び指導

「話すこと〔発表〕の 知識・技能」

「おおむね満足できる」と判断される状況	言いよんだり、表現等に一部間違いがあったりするものの、自分にとっての'Hero'の得意なことや状態・気持ちなどについて話している。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	必要に応じて、助言や支援を行い、学習改善につなげる。デジタル教科書や動画の表現等を活用し、何度も音声に触れる機会を設けるようにする。必要に応じて学級全体で練習する時間を設ける。

「話すこと〔発表〕の 思考・判断・表現」

「おおむね満足できる」と判断される状況	自分の新たな一面を知ってもらうという目的に応じて、自分にとっての'Hero'の得意なことや状態・気持ちなどについて、自分の考えや気持ちを含めて話している。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	中間指導の際に、友達の発表やデジタル教科書、教師や友達の表現を参考にしたり、個別に問いかけたりし、学習改善につなげている。